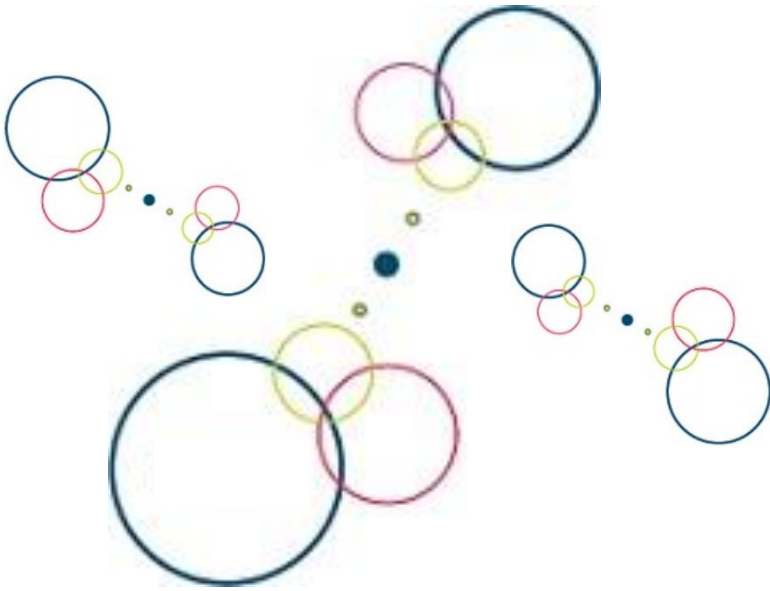


廣瀬仁のルポルタージュ

靈的人生を歩むためのヒント

2026/9/28 新しいご縁と、斷捨離すべき人間關係





「E21-F ④」 アルトヌウロウイ ARUT.NOROUY 足立育朗

運の本質とは、ご縁に恵まれることである

何かしらの分野で結果を出された人は、必ず「運」というものを味方につけています。「人生は、宿^宿命^命使^使命^命運^運命^命をつけた命をどう使い、何処に運ぶのかによって決まる」、これは地上人生の格言になります。

成功者に「成功の秘訣は？」と質問したならば、8割の成功者は「運」と答えています。そうすると「運」とは、人生を豊かに生きるための重要な要素になってきます。

しかし、スピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理には、「偶然、奇跡、たまたま、例外は存在しない」と斷言しており、「運」というものの存在を否定しています。

では、「運」とは何かのか？

SEPULW
その本質とは「背後靈が用意したご縁＝運」であり、「運」は「自分の魂の願望を
SEPULW
現實に導くための、背後靈が手配した必要なご縁という、目に見えない重大なエネルギー」です。そのご縁を「直観」で見抜き、人生のキーマンとご縁を繋げるかが地上
人生の分かれ目になります。

今更言うまでもなく、地上世界で最高峰のご縁は「靈界主導の地球人類救済計画」
スピリチュアリズム
に導かれることであり、それより崇高なご縁は地上世界に存在しません。その運を逃
した人間は、死後に大きな代償を伴うことも明らかにされています。また、シルバ
ーバーチの靈訓、および音叉セルフヒーリングも地上最高峰のご縁になります。

「ご縁を大切にできる、運がいいと言われる人達の共通点は「明るく」「積極的」な人であり、そして「常に注意深くあらゆる情報のアンテナを張り、様々なアイデアが豊富で、チャンス時の決心、じっさい実行が早い」人です。

一方、「運の悪い人」とは、「消極的」で「マイナス思考」で、それが故に、何処にいても結果的に「いいご縁」に恵まれません…。

そうした消極的かつマイナス思考の人間を他人は「おうえん應援しよう」とか「教えよう」と思わないし、本当に賢い人間は、そうした人間を相手にする時間が無駄なので、引き潮のように去って行きます。よって消極的かつマイナス思考の人間は、誰から大切なおサポートが受けられずに、人生のチャンスは逃げて行きます…。このコミュニテ

イーでも大部分の人間は消極的でマイナス思考であり、人から嫌われる特徴を多く持った人達ばかりです。

消極的、マイナス思考の人間の共通点は、古い習慣にしがみつき、新たなチャレンジに否定的です。常に「無難」な選択肢しか頭には無く、そして何事も「言い訳」が大好きであり、常に言い訳、言い訳をします。いつ何時でも、「言い訳」をしますから、賢い人間は、そうした人間に何も言わずに離れて行きます。そして「視野が狭くて、硬直的」な人間が出来上がり、人生のチャンスには氣づかない、負のスパイラルに入って行きます…。

明るく積極的な人間、消極的でマイナス思考の人間を比較してみると、ちよつとし

た行動や、考え方次第の差で大きく人生が別れて行きます。つまり「ご縁^運」とは、物事の考え方次第で、常に素晴らしいご縁^運を引き寄せる事も出来るし、逆にご縁^運を取り逃がす事も出来ます。一言で言うと「自分の心がけ次第」で、ご縁^運はコントロール出来る、それが「運」の本質となります。

時期の来た人間だけに声かけをするのが、すべての原則

スピリチュアリズムに導かれ、「靈的眞理の普及のために自分自身を役立てたいという眞摯^{しんし}な禱^{いの}り」が本物ならば、靈界の人々の導きの中で、時期のきた人との出会いがセッティングされます。必ず靈的眞理の普及、音叉セルフヒーリングの普及、ユーワード活動^{じっせき}の實績^{じっせき}が上げられるようになります。

しかしその前に必ず一度は「靈的知識」への「信仰心」と「忍耐力」が試されるような苦しい状況を迎えることになります。そして、どのような苦しく辛い状況にあっても、靈界の人々が導いてくれていることを信じることが大切です。

また、スピリチュアリズム地球人類救済計画の「靈的眞理の普及方法」には、洗脳、狂信的で強引な布教をしてはなりません。そもそも宗教やニューエイジ系（※ネットワークビジネス含む）が、セミナーやワークショップといった手段で「マインドコントロール」といった不自然な方法をとらなければならないのは、時期のきていない人間を対象としているからです。

自分から情報を求めている人に、無理やり何かをを押し付けようとする、これが

地上世界な様々な問題を助長しています。スビリチュアリズム
地球人類救済計画では「時期のきた人だけを普及の対象」としています。これは靈的眞理、音叉セルフヒーリング、ユウワード活動、すべて同じ原則です。しかし、いくらいつても強引な普及方法をみんな辞めません。本当に呆れ果てるばかりです……。

悪縁は一刻も早く斷捨離すべき

人生で本当に運が良くなり、開運したければ、悪縁を一刻も早く「斷捨離」するべきであり、多くの人の人生が上手く行かないのは、多くの人が下らない人間関係を斷捨離できずにいるからです。早急に悪縁との付き合いは斷ち切る、それが出来るかどうか、人生では重要な分かれ目になります。

人生が上手く行かない人の特徴の一つが、人間関係をリセットできずにいる人が多いです。しかし、そんな人間には「優秀な人」も「優秀な健康情報」も「優秀な経済情報」も、結局のところ全部寄り付きません。並み以下の人物や、並み以下の情報しか来ません。それが全ての結果です。

コミュニティーの規律、ルール モラル マナー道徳心、礼儀の維持

音叉コミュニティーのメンバーでも、仲間として共に歩んできたメンバーが、コミュニティー全員への悪影響を及ぼすような決定的なマイナスとなるような行動に走ることがあります。また、靈的眞理を忘れ、完全に日常生活に埋没し、無私無欲や自己犠牲の対極の、私利私欲や自己満足だけを求める過半数のメンバーの行動も目立ち

ます。そうしたときは、コミュニティの規律、ルール道徳心、モラル礼儀の維持のために、そのメンバーにはコミュニティから去ってもらう必要があります。

主語が「私」は最低最悪の人間

ちなみに現在、廣瀬仁は地上世界でのご縁はあまり大切にはしていません。何故なら「霊界の存在」とのご縁を重要視しているからです。また、主語も「大霊」たいれい「自然法則」「イエス」「霊界」「高級霊」であり、少なくとも「私」という主語は使わないように注意しています。

ゴミクズな人間の特徴は沢山あれど、簡単に挙げると物事の見方も主語も「私」と

なる人です。質問も疑問も発言も「私」が中心です。また、様々な知識、情報を与えられても「返報性の法則」を一切行動に現わさない人間です。この音叉コミュニケーションでも、大半の人間が残念ながら当てはまるのではないのでしょうか？

基本的に、三流は自分自身の主観、二流は相手の客観、一流は真理の俯瞰ふかんというのが行動原理になり、これが「靈的真理の理解力」にも関わってきます。廣瀬仁は「わたし」という平仮名を使いますが、これは本来の文字である「和多志わたし」という文字だと讀めないから、本来の意味に近づけるために平仮名にしています。

そもそもネイティブインディアンは「わたし達」や「我々」という概念であり、「私」という固有名詞を使いません。主語が「私」というのは、最低最悪の人間なのです。

素晴らしい出会いと、ダメな出会いについて

人生には、新しい素晴らしい出会いが定期的に必要ですが、大半の人間が新たにダメな人と出会う人が多いです。しかし、それも出会いだと思ってしまう。そんなものはご縁とは言えないのですが、勘違いする人が多い……。

出会いで大事な事は、新しい素晴らしい出会いを願う事です。その素晴らしい出会いが起こる確率はユーワードというコミュニティで起こることが多いのですが、ここの注意点は、SAビジトレ、SAミーティングだと、新しい素晴らしい出会いが起こる確率が高く、マルシェ、こうりゆうかい交流會だと、新たにダメな人との出会いの確率が高いという現実げんじつです。

マルシエ、交流會^{こうりゅうかい}レベルの出会いだと、人間力を高めたいなどの向上心や自己の判断基準が無く、そんな人の特徴として本人は氣がついていないようですが、話の中に「ユーワード」の「不平不満」と「愚痴」と「否定」が多いです。

ダメな人間の特徴を見ると、「積極性が無い」、「規則正しい生活習慣が身につかない」、「返報性の法則が無い」、「靈的眞理、自己啓發系などの勉強をしない」、「あらゆることに不平不満と愚痴が多い」、これがダメな出会いであり、こんな人間は縁を切られて当然であり、反対にどんどん成長する人間とは「自分より能力のある人に囲まれて過ごしており、その環境になりやすいのがユーワードのSAビジットレやSAミーティングなどの環境であり、倫理法人會、BNI、異業種交流會^{いぎようしゅこうりゅうかい}など、意圖的^{いとてき}に意識が高い人間がいる環境で過ごさないと人生の向上はありません。

地上世界の有限時間をどう過ごすのかが問われている

ちなみに皆さんは、地上世界でも最高峰の幸運の持ち主でもあります。何故なら『シ
ルバーバーチの靈訓』という、地上人生最高峰のバイブルを知ることが出来たからで
す。さらには「音叉セルフヒーリングによる生命いのちの調律」という「眞まことの禱いのちり」という
方法論を知ることにも出来ているからです。

しかし、靈的人生は無限でも、地上人生の時間は有限であり、限られた時間内でし
か我々は存在できません。そしてその時間は極めて短いです……。人間は必ず死にま
す。物質は永遠でないので絶対に死にます。それが本当に正しく理解できたなら、無
駄な時間を過ごさないためにも、有益でない人間関係は一度整理し、もっとワクワク

ゾクゾクする楽しい会話ができる人とのクオリティータイムを過ごすようにしなければ、絶対に人生は向上しません。地上世界の有限時間を氣にもとめずに、バカ同士で無意味に群れていては人生は墜落します。

人の「群れ」は上下様々ですが、言える事は「下」に合わせる人生だけは送っては駄目だと言う事です。そんな生き方をしていたら死後に必ず罰が当たります。怠けているのと同じです。そうした人間と群れていると、人生の厳しさからは常に逃げる事をする人間になってしまいます。「類は類を呼ぶ」ですから、基本的に周りには自身と同じタイプが集まります。そうなるのは、生きるって事は「シビア」な事だと言う大前提を理解していないからです。だから怠惰な場所でダラダラ生きる、そんな事は靈的眞理を知ったからには、やってはいけない生き方です。

教わり方の姿勢

最後に、どんどん成長していく人間は「教わり方の姿勢が違う」と言う格言があります。例えば、教わり方の姿勢を「一流」と「三流」の違いに分けます。

「一流は、弟子になる。三流は、お客様になる」

「一流は、急ぐ。三流は、焦る」

「一流は、証拠を求めない。三流は、証拠を求める」

「一流は、教わっていると感じる。三流は、怒られていると感じる」

音叉コミュニケーションでも、教わっていると感じるか、怒られていると感じるか、こ

の差が、成長する人間と、成長しない人間の典型的な差のように感じます。

なぜ、教わっているのを怒られていると履き違えるかと言うと、怒られてると履き違えている人間は、主語が「私」だからです。この意味が理解できる人間ならば、まだ救いようがあるのかも知れませんが……。

とにかく地上人生は「靈優位の決心」「インスピレーションを受け取る」「インスピレーションを即實行」じっこう「實體驗」じったいけん「氣づき」まな「學び」まな「改善」の繰り返しです。その人生の法則から逃げた者の結果は「墜落」です。今回のルポルタージュの内容は、コミュニケーションのメンバー全員に対しての警告文でもあり、この内容を生かすも殺すも皆さん次第です。願わくば、正しく受け取ってほしいものです。